

斑鳩寺弥勒堂瓦銘

— 斑鳩寺弥勒堂瓦銘調査報告 —



1989年7月

太子町教育委員会

例 言

1. 本書は、斑鳩寺弥勒堂の瓦銘調査報告書である。
2. 調査は、太子町教育委員会社会教育課三村修次・田村三千夫が行なった。
調査後の整理作業については、岩村千穂の協力を得た。
3. 本書の執筆は三村が行ない、編集は三村・田村が担当した。

目 次

1. 調査に至る経過	-----	1
2. 調査の方法	-----	1
3. 調査の結果	-----	1

挿図目次

第1図	斑鳩寺伽藍配置図	-----	表紙
第2図	弥勒堂屋根瓦銘位置図	-----	2

表 目 次

第1表	斑鳩寺弥勒堂屋根瓦銘文集成	----	3
-----	---------------	------	---

1. 調査に至る経過

太子町鶴字斑鳩寺 709番地の斑鳩寺弥勒堂は、『斑鳩寺記録』に寶永七年(1632)「壹間三尺四方 石像」と記載されていることから、それ以前に建立されたものと考えられ、寛文八年(1668)の「当寺堂塔寺院之図」には描かれていないが、三重塔の南、納経所・休憩所の東に接する位置にある。

昭和63年 7月、当堂の屋根全体の腐朽が著しく瓦の落下が見られるようになり、堂全体に素屋根が設けられたのに伴って、昭和63年 8月 2日に鶴庄荘園遺跡分布調査の一環として太子町教育委員会が瓦銘の確認調査を行なった。

2. 調査の方法

斑鳩寺弥勒堂屋根に素屋根が架けられ、屋根まで軒足代によって登ることができ、屋根瓦全体の確認調査を実施した。

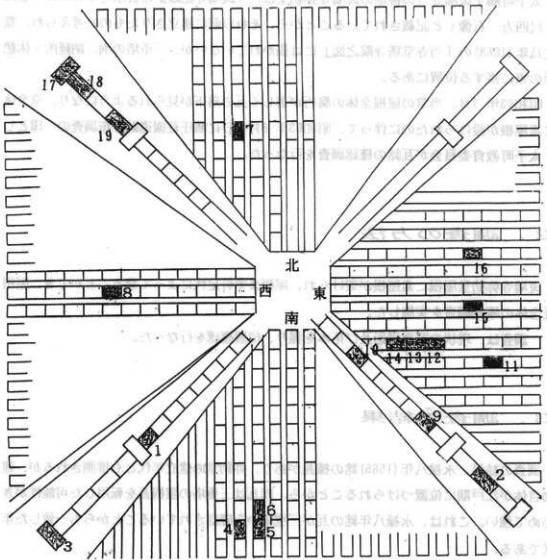
調査は、現状の写真撮影及び拓本を撮り、位置確認を行なった。

3. 調査の結果

調査の結果、永禄八年(1565)銘の棟瓦があり、弥勒堂の建立年代とも推測されるが、建物自体が江戸期に位置づけられることから、同瓦は三重塔の屋根瓦を転用した可能性がきわめて強い。これは、永禄八年銘の瓦が三重塔から確認されていることから一致した年代である。

また、このほかに、寶曆四年(1754)銘の棟瓦に『南無阿弥陀佛』と書かれ、刻印で『久右エ門』とある瓦が確認された。当堂は創建当初、檜皮葺で、寶曆四年(1754)に本瓦葺が行なわれたと考えられる。

刻印のある丸瓦では、『鶴瓦庄』『鶴村住人藤原氏三木善四郎』等があり鶴地区内で作製されたものであろう。



第2図 彌勒堂屋根瓦銘位置図（略図）

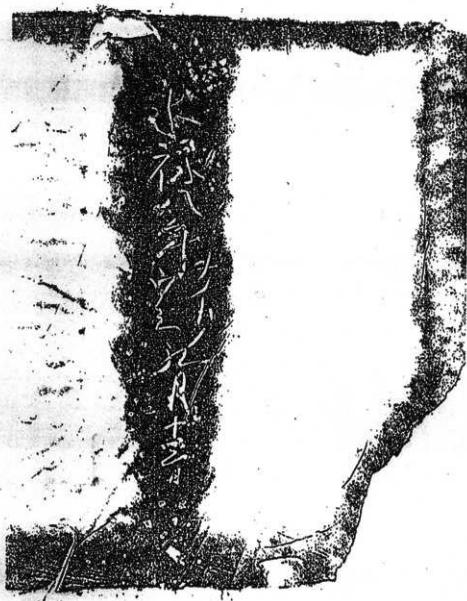
第1表 斑鳩寺弥勒堂屋根瓦銘文集成

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	記載位置	銘文	文献
1	1565 永禄 8	弥勒堂南西隅棟	棟瓦	凸面	永禄八年キノトノ ウシ 九月十三日	
2	1754 寶暦 4	弥勒堂南東隅棟	棟瓦	凸面	寶暦四戌年四月日 二ノ五 南無阿弥陀佛 (刻印) 久右エ門	
3		弥勒堂南西隅棟	鬼瓦	右面	三木 庄左エ門	
4		弥勒堂南面	丸瓦	凸面	(刻印) 觸瓦庄	
5		弥勒堂南面	丸瓦	凸面	(刻印) 觸瓦庄	
6		弥勒堂南面	丸瓦	凸面	(刻印) 觸瓦庄	
7		弥勒堂北面	丸瓦	凸面	(刻印) 觸瓦庄	
8		弥勒堂西面	丸瓦	凸面	(刻印) 觸瓦庄	
9		弥勒堂南隅棟	棟瓦	凸面	なみあみだぶつ	
10		弥勒堂南東隅棟	棟瓦	凸面	(模様・絵)	
11		弥勒堂東面	丸瓦	凸面	南無阿弥陀佛	
12		弥勒堂東面	丸瓦	凸面	(梵字)	
13		弥勒堂東面	丸瓦	凸面	(刻印) 觸村住人藤原氏	
14		弥勒堂東面	丸瓦	凸面	三木善四郎	
15		弥勒堂東面	丸瓦	凸面	南無阿弥陀佛 □□□□三左衛門貞兵門	
16		弥勒堂東面	丸瓦	凸面	(不明)	
17		弥勒堂北面	鬼瓦	左面 右面	刻 □□	
18		弥勒堂北西隅棟	棟瓦	凸面	(記号) イノ五□□ (刻印) 久右エ門	
19		弥勒堂北西隅棟	棟瓦	凸面	(記号) ニノ八 (刻印) 久右エ門	

瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町勝 709)

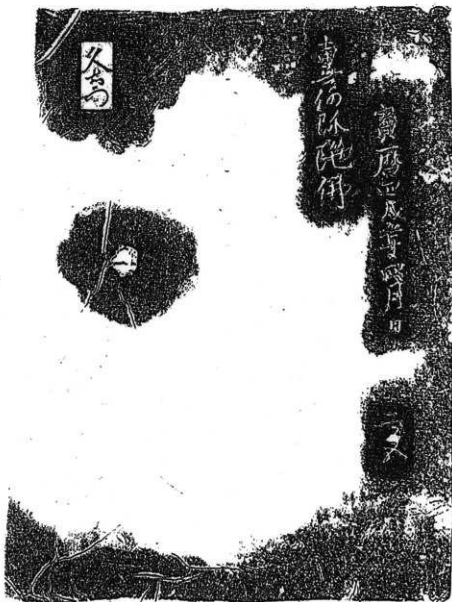
番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
1	1565 永禄 8	南西隅棟	棟瓦	永禄八年 ^{キノトノ} ウシ 九月十三日	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
2	1754 寶暦4	南東隅棟	棟瓦	寶暦四戌年四月日 二ノ五 南無阿弥陀佛 久右工門 (刻印)	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町鰯 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
3		南西隅棟	鬼瓦	三木 庄左工門	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町 709)

番号	年号(和曆)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
4		南面	丸瓦	鶺鴒瓦庄 (刻印)	
5		南面	丸瓦	鶺鴒瓦庄 (刻印)	
6		南面	丸瓦	鶺鴒瓦庄 (刻印)	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町船 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
7		北面	丸瓦	鶯瓦庄 (刻印)	
8		西面	丸瓦	鶯瓦庄 (刻印)	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町幡 709)

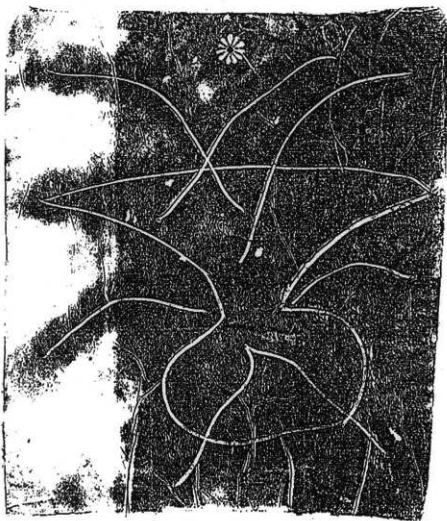
番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
5		南東隅棟	棟瓦	なむあみだぶつ	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町筋 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
10		南東隅棟	棟瓦	(絵)	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町筋 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
11		東面	丸瓦	南無阿弥陀佛	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
12		東面	丸瓦	(梵字)	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
13		東面	丸瓦	鵜村住人藤原氏三木普四郎 (刻印)	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
14		東面	丸瓦	鵜住人藤原氏三木善四郎 (刻印)	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
15		東面	丸瓦	南無阿弥陀佛 □□□□三左衛門貞兵門	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
16		東面	丸瓦	不明	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
17		北面	鬼瓦	□□ (右) 亥 (左)	



瓦文

斑鳩寺 弥勒堂 (太子町船 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
18		北西隅棟	棟瓦	イノ五〇〇 久右工門 (記号) (刻印)	
19		北西隅棟	棟瓦	ニノ八 久右工門 (記号) (刻印)	



18



19



